東九州から世界へ
医療機器の国際展開を本気で考える2.5時間

東九州メディカルバレー構想推進事業

2026
12/3 [木]
14:00～16:30
レンブラントホテル大分
大分県大分市田室町9-20

医療機器の海外展開に向けた
国際展開セミナー in おおいた

主催：国立大学法人大分大学

2010年に発足した「東九州メディカルバレー構想」の取り組みとして、大分大学は大分県・宮崎県と連携し、ASEANにおける国際人材の育成と医療機器の展開を支援してきました。このたび、国産医療機器の国際展開を目指すセミナーを大分市で開催します。
本セミナーでは、①海外チャネル構築のポイント、②大分県企業によるリアルな国際展開事業の紹介、③シンガポール・タイをはじめとするASEANでの医療技術・医療機器展開に向けた支援についてご紹介します。
皆さまのご参加をお待ちしております。

セミナー（14:00ー16:30）

ご挨拶14:00-14:05
穴井　博文（大分大学医学部先進医療科学科 学科長　教授
大分大学医学部臨床医工学センター　教授）

セミナー1　14:05-14:25
「失敗から学ぶ：ASEAN医療機器展開における海外チャネル戦略の重要性
～なぜ日本製医療機器は海外で売れないのか～」
丹下　佳洋（大分大学医学部先進医療科学科・
大分大学医学部附属臨床医工学センター　講師）

セミナー2　14:30-15:15
「国際展開を目指す我が社の取り組み」
徳永　浩幸 氏（トクソー技研株式会社 代表取締役）

休憩

セミナー3 15:30-16:15
「シンガポールを起点とした医療技術・医療機器の東南アジア地域への展開支援」
近藤　百合 氏（電気通信大学 TLO（株）キャンパスクリエイト
産学官連携コーディネーター　グループリーダー）


丹下　佳洋
研究者が語る“本音の海外戦略”


徳永　浩幸 氏
大分県から世界へ挑む企業の
リアルな国際展開


電通大TLO　近藤　百合 氏
大学発スタートアップの医療機器・ヘルスケア
ソリューションと海外実証拠点のニーズをつなぐ
コーディネータ

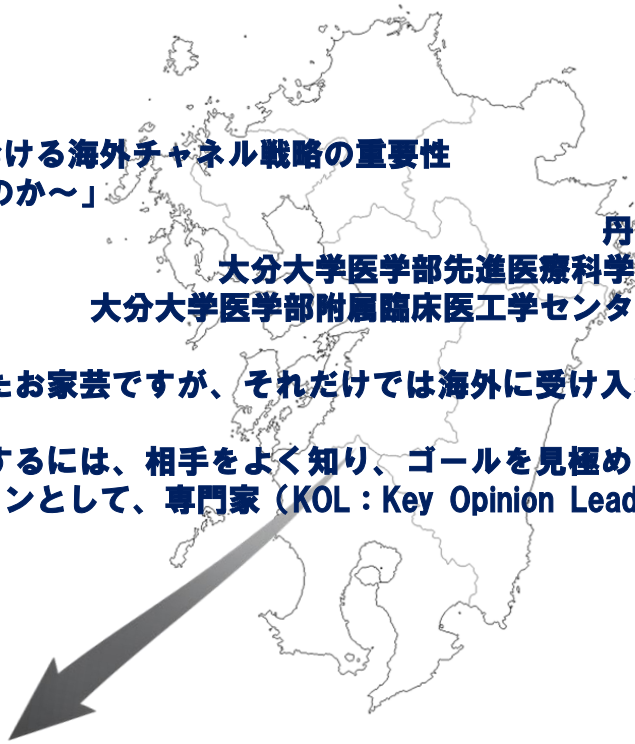
国立大学法人大分大学医学部附属臨床医工学センター
〒879-5593　大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
TEL: 097-586-5138（直通）FAX: 097-586-5146
MAIL: ikogaku@oita-u.ac.jp
CENSNET: https://censnet.org/
ホームページ: https://www.ikogaku.jp/

← 参加申し込みフォーム

参加費：無料
対象：どなたでも参加できます（定員30名 先着順）

OITA UNIVERSITY

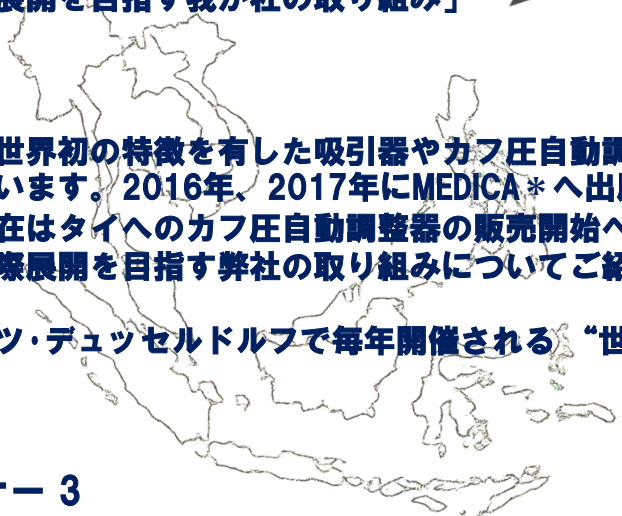
東九州から世界へ
医療機器の国際展開を本気で考えるセミナー



セミナー 1
**「失敗から学ぶ：ASEAN医療機器展開における海外チャネル戦略の重要性
～なぜ日本製医療機器は海外で売れないのか～」**

丹下　佳洋
大分大学医学部先進医療科学科　講師
大分大学医学部附属臨床医工学センター　講師

“ものづくり”は、これまで日本を支えたお家芸ですが、それだけでは海外に受け入れられないのが現状です。
良いものを国内のみならず、海外に展開するには、相手をよく知り、ゴールを見極める必要があります。本セミナーのイントロダクションとして、専門家（KOL：Key Opinion Leader）の取り組みと　その活用について解説します。



セミナー 2
「国際展開を目指す我が社の取り組み」

徳永　浩幸 氏
トクソー技研株式会社 代表取締役

弊社は世界初の特徴を有した吸引器やカフ圧自動調整器等の医療機器を自社開発し、全国へ販売しています。2016年、2017年にMEDICA＊へ出展し、海外展開にチャレンジしてまいりました。現在はタイへのカフ圧自動調整器の販売開始へ向けて取組を行っています。本セミナーでは、国際展開を目指す弊社の取り組みについてご紹介します。

＊ドイツ･デュッセルドルフで毎年開催される“世界最大の医療機器･ヘルスケア総合展示会”

セミナー 3
「シンガポールを拠点とした医療技術・医療機器の東南アジア地域への展開支援」

近藤　百合 氏
電気通信大学 TLO（株）キャンパスクリエイト 産学官連携コーディネーター グループリーダー

大学内での事業化見込みの高い研究シーズの探索・発掘や、企業様の新規事業創出に向けた産学連携の活用プロジェクトの企画提案、伴走に従事。前職のメーカー時代に培った新製品立ち上げにおけるプロジェクトマネジメント経験や、海外法人向けの技術営業経験を活かし、出口戦略を意識したコーディネートに注力しています。
国内外でのプロダクト営業経験を背景に、シンガポールを拠点とした国内大学発スタートアップのASEAN市場展開を支援するハンズオンプログラムの企画・運営を推進。現地の医療機関や介護施設と深く連携し、市場調査やニーズヒアリングから、PoC（概念実証）プロジェクトのマッチング、および現地での社会実装に向けた伴走支援まで幅広く携わっています。今回はその取り組みについて話題提供します。

